

シグマ研究委員会

遮蔽定数WG 1980年度第3回会合議事録

日 時 1981年3月6日(金) 14:00 - 17:00
場 所 日本原子力研究所 東海研究所研究2棟 322会議室
出席者 伊藤(船研), 川合(NAIG), 河北(MAPI), 南(富士通), 菊池,
小山(原研), 大竹(PNC), 佐々木(FBEC), 松本(三井造船),
宮坂(核管センタ), 山野(住友原子力)
オブザーバー: 中沢(東大炉), 川瀬(ISL)

配布資料

SC-80-9 前会合(1980.10.29)議事録

SC-80-10 1978~1980年度成果報告

議 事

1. 資料SC-80-9による前回議事録の確認
2. 山野委員より資料SC-80-10を用いて1978~1980年度の本W.G.の活動成果の報告がなされた。これに対し菊池委員より1980年度成果については論文を提出してはどうかとの意見があり承認された。また、今後の問題として、globalな遮蔽分野での議論、例えば二次ガンマ線あるいは照射損傷の問題が残されているとの指摘がなされた。
3. 小山委員より来年度活動についての説明があった。要旨は以下の通りである。
 - (1) 遮蔽定数WGは1980年度で解散し、二次ガンマ線評価などの必要な時点で新たに活動を行う事とする。
 - (2) 現時点での活動のうち、Li, Cなど軽元素の再評価については核融合・遮蔽定数WGの中で行うものとし、遮蔽定数WGはその発展的解消とする。
 - (3) 本WGのメンバーより核融合・遮蔽定数WGへの参加希望は後日事務局で受け付ける事とした。また新メンバーは実作業を積極的に行い、報告会での議論に参加

出来る方々をお願いしたいとの意見が出された。

以上の計画案が承認された。なお本会合に欠席した委員には、連絡する事とした。

4. 菊池委員より1981年度実行予算の説明と核融合・遮蔽定数WGの活動についての説明があった。

以 上